



(上段右作品)
タイトル「bonsai cafe」

出品者/いち
上段より：
黒松 5.5cm、斑入けやき 0.8cm、姫足長ムシトリス
ミレ 0.8cm、虹の玉 2cm

(上段左作品)
タイトル「超ミニ盆栽庭園」

出品者/みさき
草月 2cm、香丁木 3cm、
黒松 5cm、もみじ 3cm、
五色ドクダミ、ギボウシ

(下段作品)
タイトル「初夏の里」

出品者/2nd HOUSE
左より：
ヒメツルソバ・カタヒバ 3cm 尾州古山鉢



【ブログを通じての交流がきっかけで生まれた同好会】

この展示会を企画した超ミニ盆栽鉢同好会とは、Webを通じて組織された愛好団体である。

「ミニ盆栽や超ミニ盆栽の愛好家は全国にたくさんおられますが、一般的な盆栽の愛好家と比べると数は多くありません。だからミニ盆栽を作っても気軽に相談したり話をできる人も少なく、作品発表の場にも恵まれているとは言えません。そういった環境ですから、愛好家の皆さんはそれぞれブログを立ち上げて培養のことを発表したり作品を紹介されるようになり、インターネットを通じて自然と交流が広がっていくようになりました」と、同好会立ち上げメンバーの一人で、会の事務局を務めるみさきさんは同好会発足に至る経緯を説明して下さいました。

みさきさんは、ミニ盆栽愛好家として有名な鈴木亮介氏の著書『掌上の盆栽』を読んだことがきっかけで盆栽を始めたそうで、盆栽歴はまだ10年にも満たないが、

小さな盆栽を楽しんでいる愛好家さん。さらに盆栽趣味が高じてミニ鉢まで手掛けられる。所属する盆展会に常滑の鉢作家である渡辺壱興氏が在籍していたこともあって、壱興氏を先生と仰いで作陶を学び、そうした活動を自身のブログで日々紹介されている。

サイトの制作や運営を担当する福岡在住のこはるさんは、みさきさんとブログを通じて知り合った。道の駅で販売されていたミニ盆栽を購入することがきっかけで盆栽を始めたこはるさんは、ご夫婦揃っての愛好家さん。盆栽を始めたのは4年前と盆栽歴はまだ浅いこはるさんだが、盆栽以外に小鉢作りも手掛け、自宅に窯を構えるほどの熱中ぶりだという。盆栽の培養方法を調べるためにネットを利用し、その中でみさきさんのブログを見つけ、鉢作りなどの質問から交流を深めていった。その交流の延長線上で生まれたのが、この『超ミニ盆栽鉢同好会』であった。